

□ 主な内容

【中国 EST 創発セミナー(岡山) 及び 東北 EST 創発セミナー(仙台) 参加者募集中!】

平成 27 年 1 月 16 日(金)に、岡山にて環境負荷の小さい交通を考えるセミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちします。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu35.html>

また、平成 27 年 1 月 26 日(月)に、仙台にて地下鉄東西線を事例にあげた環境負荷の小さい交通を考えるセミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちします。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu37.html>

【優良事業者表彰の受賞者が決定しました!】

交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰 及び グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰の受賞者が決定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo03_hh_000142.html

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000155.html

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 101 回)

●「路線バス事業の改善モチベーション」

【イーグルバス株式会社 顧問 坂本 邦宏】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信!」(第 101 回)

●「黒部市の公共交通の取組み」

【黒部市都市建設部新幹線交通政策課 主任 村山 愛】

3. ニュース／トピック

●平成 26 年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰について【国土交通省】

●平成 26 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰の受賞者決定について【国土交通省、経済産業省】

●地域公共交通網形成計画の送付について～京都府等及び四日市市が全国で第 1 号～【国土交通省】

●温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)による大都市等における二酸化炭素観測データと人為起源排出量との関係について【環境省】

●環境保全功労者局長表彰の募集について【東北運輸局】

●小学校における MM 教育(交通環境学習)の普及に向けての支援事業【エコモ財団】

- MM教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度【エコモ財団】
- EV・PHVの普及に向け、充電インフラの位置情報や周辺施設情報などをユーザーに提供するサービス機能の開発について【愛知県】
- コミュニティサイクル事業の実施について【足立区】
- 燃料電池自動車の購入補助の実施について【豊田市】
- 「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーパス」の発売について【京都市】
- UR都市機構とタイムズ24が東京23区内でカーシェアリングサービスを開始【UR都市機構、タイムズ24株式会社】
- 「その場回転」が可能なEVモビリティ「Q'mo」のナンバープレートを取得【NTN株式会社】
- 高圧水電解システムを採用したスマート水素ステーションの設置について【本田技研工業株式会社、岩谷産業株式会社、北九州市】
- 内閣が「気候保護行動計画2020」を承認【ドイツ連邦環境省】

4. イベント情報

- 中国EST創発セミナー～環境負荷の小さい交通への転換を目指して～【2015/1/16】
- 東北EST創発セミナー～地下鉄東西線開業！環境負荷の小さい交通への転換を目指して～【2015/1/26】
- 第19回バリアフリー推進ワークショップ「ロンドン大学(UCL)発 高齢者・障害者のモビリティ、アクセシビリティ研究」【2015/1/15】
- 「リニア中央新幹線を活かした名古屋圏地域づくりフォーラム」【2015/1/22】
- 連節バス導入に係る説明会【2015/1/22】
- CO2削減ポテンシャル診断セミナー2015【2015/1/28、1/29、2/5、2/6、2/13】
- 第12回バスマップサミット【2015/2/7-8】
- 低炭素杯2015【2015/2/13-14】

5. その他

- ESTパートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST普及推進委員会事務局はTwitterによる情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 101 回)

●「路線バス事業の改善モチベーション」

【イーグルバス株式会社 顧問 坂本 邦宏】

生活路線を運行するバス事業者の使命は「地域公共交通として安全で便利な路線バスサービスを多くの人に提供すること」というと、疑いを持たれる方は少ないでしょう。本メルマガ 99 号でも、明石市 Taco バスが年間目標の 100 万人を突破したことが紹介されています。多くの人の「おでかけ」を支える路線バス事業は、今大きな転換期を迎えています。

バス事業者は、大手企業も中小企業も文字通り企業体として事業を行っています。事業である限り赤字経営では継続的なサービス提供は不可能です。路線バスの場合、利用者からの運賃収入等で黒字とならない場合には、法律や条例等に基づく国や自治体からの運行補助金によって運行が支えられているのが実態です。例えば、年間 3 千万円の運行経費がかかり、運賃収入が 1 千万円であれば、2 千万円の欠損補助となります。では、事業者がエコドライブ推進によって燃料費を削減させたらどうなるか想像してください。答えは、運行経費が減った分(努力した分)補助金が減ります。また、事業者が MM によって利用者を増やした場合には、運賃収入が増加した分(努力した分)補助金が減ります。さらにエコドライブや MM にかかった経費は予算計上が困難です(努力の経費は無視)。これでは「何もしないほうが良い」「努力は無駄」という経営判断、事業者の使命のモラルハザードとならざるを得ません。私は全国のバス事業者と議論する中で、事業改善を諦めている話を何度も聞きました。バスのヘビーユーザーである生産年齢人口の減少は今に始まった訳ではありません。企業であるバス事業者は改善しようにもする意義を見いだせなかった、改善のモチベーションを持つことができなかつたのが実情と言えるでしょう。

弊社では、埼玉県の日高飯能路線で H26 年度から「お出かけサポート便」という路線端末延長のデマンド(的)運行を新しく開始しました。丘陵地の谷部を路線バスが運行していますが、高台にお住まいの方は「行きはよいが(下り坂)、帰りはツライ(上り坂)」状態でした。そこで、利用者がある時のみ高台まで降車専用として運行を延長したのです。デマンド(的)運行のため経費は抑えられ、利用者も微増しています。この新しいサービスを開始したのは、改善によって事業者の使命を果たせることが最大のモチベーションです。補助対象システムを上手く回避させた担当者のアイデア、そしてトップの経営判断も大きかったのですが、本来は事業者が改善するモチベーションを持たせる制度とすることが根本的解決の 1 つだと思っています。事業者の言い値の補助金を出すだけではない新たな制度を作ることは、国や自治体の責務でしょう。そしてその努力は報われるはずで

交通政策基本法の施行から 1 年が経過しました。国の基本計画は当然大切ではありませんが、このような実務サイドの制度を変革することで、良い転換期となることを切実に願います。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 101 回)

●「黒部市の公共交通の取組み」

【黒部市都市建設部新幹線交通政策課 主任 村山 愛】

富山県黒部市は、平成 27 年 3 月 14 日に開業する北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」が設置され、富山県東部の玄関口として地域の皆様に親しまれる駅になるよう、そして、地域の魅力が全国に発信できる駅になるよう取り組んでいます。「黒部峡谷」、「宇奈月温泉」、「黒部の名水」などの大自然を活かした観光が盛んで、先般、「立山黒部ジオパーク」としてこれらを含むエリアが日本ジオパークに認定されたところであります。

さて、公共交通については、今、大きな節目を迎えることとしています。本市は鉄道を軸とした都市構造のなかで、課題として北陸新幹線開業やまちづくりの進展と連携した公共交通の整備が必要であり、「バス交通ネットワーク再編整備計画」を段階的に進めていきます。

まず、北陸新幹線開業日より「黒部宇奈月温泉駅」と「現 JR 黒部駅」を結ぶ「新幹線市街地線(仮称)」を運行することとします。

次に、平成 27 年 5 月頃より「黒部宇奈月温泉駅」が北陸自動車道黒部インターに近いという立地条件を活かし、「宇奈月温泉」と「立山室堂」を繋ぐ直行バス(期間及び土日祝日限定)を運行したいと考えています。また、秋以降には、「黒部宇奈月温泉駅」と大手企業の「YKK」が所在する地域を結ぶ「新幹線生地線(仮称)」の運行を目指し、併せて市役所の新庁舎移転に伴い、現在運行中の市街地路線バスのルート・ダイヤの見直しを行うなどを予定しています。さらに、公共交通空白地域を含むエリアでのデマンド交通の導入、コミュニティバスの運行なども段階的に進めていくこととしています。

また、YKK の本社機能の一部移転や自然エネルギーを活かした環境に優しい「パッシブタウン」構想に対応するため、5 年後 10 年後を見据え、市民が公共交通を活用し自由に移動できるまちづくりを目指し、環境はもちろんバリアフリー等に配慮した未来型の交通ネットワーク形成に関して新技術等の導入調査を行います。利便性の改善を先行させ、市民だけでなく、ビジネスや観光における利用者の増加等を図る必要があります。車両については EV バスを導入したいと考えておりますが、走行可能距離等の課題もあります。また、企業の通勤利用に組み込むことなども含め、持続可能な未来型コミュニティ交通の形態を探求していきます。

この構想については、今年度、地域公共交通網形成計画で位置付けを行い、次年度以降も継続的に検討していく予定としております。

3. ニュース／トピック

●平成 26 年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰について【国土交通省】

国土交通省では、12月18日(木)に環境保全に関する活動に積極的に取り組み、顕著な功績のあった企業、自治体に対し、交通関係環境保全優良事業者大臣表彰を行いました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo03_hh_000142.html

●平成 26 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰の受賞者決定について【国土交通省、経済産業省】

国土交通省、経済産業省では、12月12日(金)に「第13回グリーン物流パートナーシップ会議」を開催し、物流分野における地球温暖化対策に功績のあった事業者に対し、その功績を表彰しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000155.html

<http://www.meti.go.jp/press/2014/12/20141210002/20141210002.html>

●地域公共交通網形成計画の送付について～京都府等及び四日市市が全国で第1号～【国土交通省】

国土交通省では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第41号)が平成26年11月20日に施行された後、全国で第1号となる地域公共交通網形成計画について、京都府等及び四日市市からそれぞれ国土交通大臣への送付がありましたのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000072.html

●温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)による大都市等における二酸化炭素観測データと人為起源排出量との関係について【環境省】

平成21年6月から平成24年12月までの3年半に大都市等とその周辺で取得された「いぶき」データを解析した結果、世界の大都市等においてその周辺よりも二酸化炭素濃度が高い傾向が見られました。さらにその濃度差と化石燃料消費量データから算出した濃度差との間に正の相関があることから、「いぶき」は大都市等における化石燃料消費による二酸化炭素濃度の上昇を捉えている可能性が高いことが分かりました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18987>

●環境保全功労者局長表彰の募集について【東北運輸局】

東北運輸局では、交通運輸における環境対策を推進するため、環境対応車の普及、公共交通の利用促進などに取り組んでいます。これら交通運輸分野における環境対策に関し、先進的な取組や継続した活動を行い、多大な功績があったと認められる個人や団体を表彰します。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/kk/KK-hyoushoukoubo.pdf>

●小学校におけるMM教育(交通環境学習)の普及に向けての支援事業【エコモ財団】

エコモ財団は、環境問題について学び始める小学生を対象にしたモビリティ・マネジメント教育に取り組む地方公共団体に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、継続的に実施するための拠点づくりを目的として支援事業を実施してきました。平成26年12月25日から平成27年3月20日まで、平成27年度からの支援自治体を以下のホームページで募集しています。

http://www.mm-education.jp/jititai_sien.html

●MM教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度【エコモ財団】

エコモ財団は、モビリティ・マネジメント教育の実施に意欲的な教員に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、実施校の拡大と新たな教材事例の増加を図ることを目的として学校支援制度を実施してきました。平成26年12月25日から平成27年3月27日まで、平成27年度分の支援校を以下のホームページで募集しています。

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

●EV・PHVの普及に向け、充電インフラの位置情報や周辺施設情報などをユーザーに提供するサービス機能の開発について【愛知県】

愛知県では、トヨタメディアサービス株式会社、株式会社豊田自動織機、日本ユニシス株式会社とともに、充電インフラの利便性向上に向けて、位置情報や周辺施設情報などをユーザーに提供するサービス機能の開発を、産官共同で取り組みます。

<http://www.pref.aichi.jp/0000077991.html>

●コミュニティサイクル事業の実施について【足立区】

足立区では、12月20日(土)から区営自転車駐車場3カ所で、自転車の貸し出しと返却ができる「コミュニティサイクル事業」をモデル実施しています。「竹の塚西自転車駐車場」、「大師前自転車駐車場」、「舎人公園駅下自転車駐車場」の各自転車駐車場で、料金は1回200円(1日利用)です。

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/hisho/ku/kucho/mainichi-20141211.html>

●燃料電池自動車の購入補助の実施について【豊田市】

豊田市では、燃料電池自動車(FCV)の市販化に伴い、市民及び事業者向けの購入補助を12月15日より開始しました。補助対象者は自らが使用する目的でFCVを新車購入した市民及び事業者となります。

http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1274322_7011.html

●「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーパス」の発売について【京都市】

京都市では、公共交通での観光を推進するため、鉄道事業者 7 社局、バス事業者 7 社局との連携の下、京都市内の 14 の公共交通機関が乗り放題で、優待を受けられる特典施設の案内と公共交通路線図を掲載したマップがついた京都フリーパスを本年度も発売します。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000174635.html>

●UR 都市機構とタイムズ 24 が東京 23 区内でカーシェアリングサービスを開始【UR 都市機構、タイムズ 24 株式会社】

UR 都市機構とタイムズ 24 株式会社では、平成 26 年 12 月 22 日(月)より順次、東京 23 区内の UR 賃貸住宅 10 団地の敷地内駐車場にタイムズカープラスのステーションを設置します。

http://www.ur-net.go.jp/east/pdf/ur2014_e1217_carshare.pdf#search=%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%A0%E3%82%BA24

<http://www.times24.co.jp/news/2014/12/20141217-1.html>

●「その場回転」が可能な EV モビリティ「Q'mo」のナンバープレートを取得【NTN 株式会社】

NTN 株式会社は、公道走行と「その場回転」や「横方向移動」が可能な電気自動車 (EV)モビリティ「Q'mo」のナンバープレートの世界で初めて取得しました。従来の自動車にはない動きをする新たな時代の超小型電動コンピュータとして広く社会に公開し、インホイールモーターシステムと新開発のステアリングシステムの用途展開に活用します。

<http://www.ntn.co.jp/japan/news/press/news201400115.html>

●高圧水電解システムを採用したスマート水素ステーションの設置について【本田技研工業株式会社、岩谷産業株式会社、北九州市】

本田技研工業株式会社、岩谷産業株式会社、北九州市では、本田技研工業株式会社の独自技術である高圧水電解システムを採用した、パッケージ型「スマート水素ステーション」を、北九州市エコタウンセンターに設置しました。

<http://www.honda.co.jp/news/2014/4141215.html?from=copy>

<http://www.iwatani.co.jp/jpn/newsrelease/detail.php?idx=1198>

●内閣が「気候保護行動計画 2020」を承認【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、ドイツ連邦内閣が「気候保護行動計画 2020」を承認したことを公表しました。現行プロジェクトで達成される削減量と比較し、6200 万トンから 7800 万トンの追加的削減量が見込まれる対策が盛り込まれており、交通部門では 700 万トンから 1000 万トンの削減量が計画されています。気候保護行動計画 2020 の実行に向け、気候保護報告書の定期的なモニタリング、州政府や地方自治体、関連団体といった関係者の参加を進めていく予定です。

<http://www.bmub.bund.de/presse/pressemitteilungen/pm/artikel/hendricks-deutschland-schafft-sein-klimaziel/>

4. イベント情報

- 中国 EST 創発セミナー～環境負荷の小さい交通への転換を目指して～
日時:2015年1月16日(金)13:30～16:45
場所:岡山コンベンションセンター 展示ホール
主催:国土交通省中国運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu35.html>

- 東北 EST 創発セミナー～地下鉄東西線開業！環境負荷の小さい交通への転換を目指して～
日時:2015年1月26日(月)13:30～16:50
場所:仙台サンプラザ 宮城野
主催:国土交通省東北運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu37.html>

- 第19回バリアフリー推進ワークショップ「ロンドン大学(UCL)発 高齢者・障害者のモビリティ、アクセシビリティ研究」
日時:2015年1月15日(木)14:00～17:00
場所:主婦会館プラザエフ
主催:エコモ財団
<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20150115.html>

- 「リニア中央新幹線を活かした名古屋圏地域づくりフォーラム」
日時:2015年1月22日(木)13:00～16:00
場所:名古屋市公会堂
主催:国土交通省中部運輸局、中部地方整備局
<http://www.ttb.mlit.go.jp/chubu/kisya014/kikaku20141112.pdf>

- 連節バス導入に係る説明会
日時:2015年1月22日(木)14:00～16:00
場所:名古屋合同庁舎第1号館 9階 海技試験室
主催:国土交通省中部運輸局
<http://www.ttb.mlit.go.jp/chubu/jikou/rensethu-setumei.pdf>

- CO2削減ポテンシャル診断セミナー2015
日時:(仙台)2015年1月28日(水)10:00～12:00(講習会)、13:30～(相談会)
(福岡)2015年1月29日(木)10:00～12:00(講習会)、13:30～(相談会)

(大阪)2015年2月5日(木)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)
(名古屋)2015年2月6日(金)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)
(東京)2015年2月13日(金)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)

場所:(仙台)トラストシティカンファレンス・仙台 room5
(福岡)西鉄イン福岡 Bホール
(大阪)大阪コロナホテル 別館 200AB 会議室
(名古屋)名古屋ダイヤビルディング 2号館 243 会議室
(東京)世界貿易センタービル 3階 RoomA

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/19018.html>

●第12回バスマップサミット

日時:(1日目)2015年2月7日(土)12:50~18:20

(2日目)2015年2月8日(日)13:00~15:00

場所:(1日目)京都府京都市下京区 キャンパスプラザ京都

(2日目)兵庫県姫路市 姫路駅北口駅前広場

主催:全国バスマップサミット in 関西実行委員会

http://rosenzu.com/busmap/summit_kansai.html

●低炭素杯 2015

日時:(1日目)2015年2月13日(金)12:30~17:00

(2日目)2015年2月14日(土)13:00~16:00

場所:東京ビッグサイト 国際会議場他

主催:低炭素杯 2015 実行委員会

<http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2015/>

5. その他

●EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。

会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomom.or.jp (担当: 熊井)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>